

PowPak® 取付方法

調光モジュール(PWM/0-10 V)

Energi TriPak® ファミリー製品

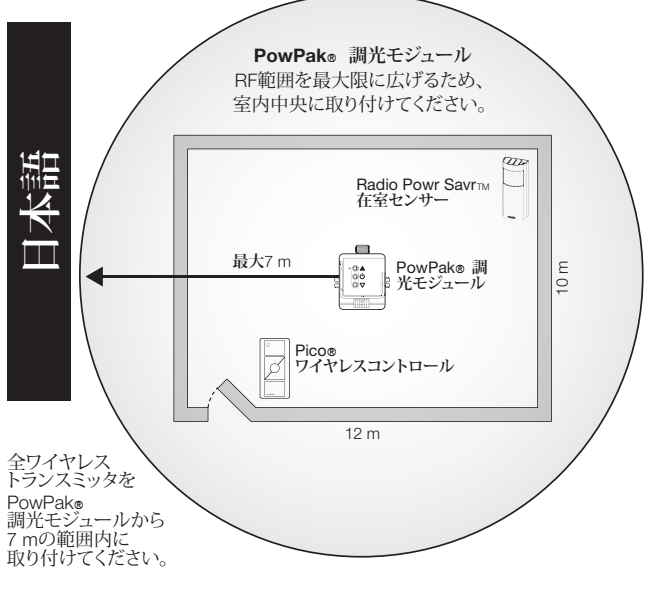
RMP-5PWM-DV-B
RMP-5T-DV-B **AC100-200V 50/60 Hz 5 A**

PWMコントロール:12 V== 150 mA
0-10 V== コントロール:10 V== 60 mA

重要事項:製品を取り付ける前に、必ずお読みください。製品の取付は、資格を有する電気工士が電気関係法令に従って行う必要があります。

- 注:配線には適切な銅線を使用してください。
- 本製品の仕様と定格が用途に適していることを確認してください。
- 製品に損傷がある場合は、使用しないでください。
- 結露が明らかに付着している場合は、製品を完全に乾かしてから取り付けてください。
- 動作周囲温度:0 °C - 40 °C。
- 湿度:0% - 90%(結露しないこと)
- 室内での使用に限ります。

警告 感電の危険があります。死亡または重傷を負うおそれがあります。本製品を取り付ける前に、サーキットブレーカーの電源を切ってください。



工場出荷時設定

在室センサー

在室:全照明が100%
不在:全照明がOFF

昼光センサー

全照明が昼光に反応して調光

ワイヤレスコントロール

ON	全照明が100%
メモリー	全照明が50%
OFF	全照明がOFF

PowPak® | 高度な設定

高度な設定は、必要に応じて行ってください。工場出荷時設定を使用する場合、高度な設定の必要はありません。

- お気に入り照度の設定
- 全器具に上限値または下限値の設定
- 人感センサー検知時の明るさ設定
- 全器具に常時点灯設定

詳細については、各製品の取付説明書とプログラミング説明書を参照してください。

限定保証

Lutron アスカ株式会社は、その裁量により、ご購入後1年間を限度として、弊社の責めに帰すべき事由により生じた製造上の欠陥のある本製品またはその部品(付属品を除きます)を修理または交換いたします。修理または交換にあたっては、不具合の生じたユニットを購入された店にご返知いただき、送料はお客様負担にて弊社に返送していただく必要があります。詳細については、Lutron アスカ株式会社(電話 03-5575-8411)までお問い合わせください。

本保証は明示的保証であり、商品性の黙示的保証および日本法令(瑕疵担保)における黙示的保証は購入後1年間に限定されています。本保証は、誤使用、不正使用、不適切または不正な修理もしくは不適切な配線または取付による破損が生じた場合に、取付、搬去または再取付にかかる費用を填補するものではありません。本保証は、偶発的、間接的またはその他のいかなる特殊な損害についても填補するものではありません。本製品の製造、販売、取付、配達または使用もしくはこれらの行為に関連して生じた損害に対するいかなる賠償についても、Lutron アスカ株式会社の責任は、本装置の購入価格を限度とします。

Lutron, Pico, および PowPak は Lutron Electronics Co., Inc. の登録商標です。Radio Powr Savr は、Lutron Electronics Co., Inc. の商標です。©2014 Lutron Electronics Co., Inc.



必要になる製品

システムに以下の商品が含まれているか確認して下さい。

PowPak® PWM調光モジュール(1個)

ステータスLED

アップ
トグル
ダウン

ワイヤレストランスミッタ(最低1個)

Radio Powr Savr™ ワイヤレス人感センサー(最大6個)

Pico® ワイヤレスコントロール(最大9個)

Radio Powr Savr™ ワイヤレス昼光センサー(最大1個)

PowPak® PWM/0-10 V== 調光モジュール(最大1個)

詳細については、www.lutron.jpを参照するか、Lutron®テクニカルサポート窓口(電話:0120.083.417)までお問い合わせください。

PWMまたは0-10 V== 対応蛍光灯照明器具またはLED照明器具(最低1台)

照明器具それぞれの配線については、他社器具の取付説明書を参照してください。

合計5 Aまで接続可能。
PWM信号出力容量:最大150 mA, 0-10 V==:60 mA

はじめに

1 0-10 V== PWM パウパックと照明器具の取付と配線

他社製照明器具の取付説明書も同時に参照ください。本製品を取り付ける前に、ブレーカーの電源を切ってください。

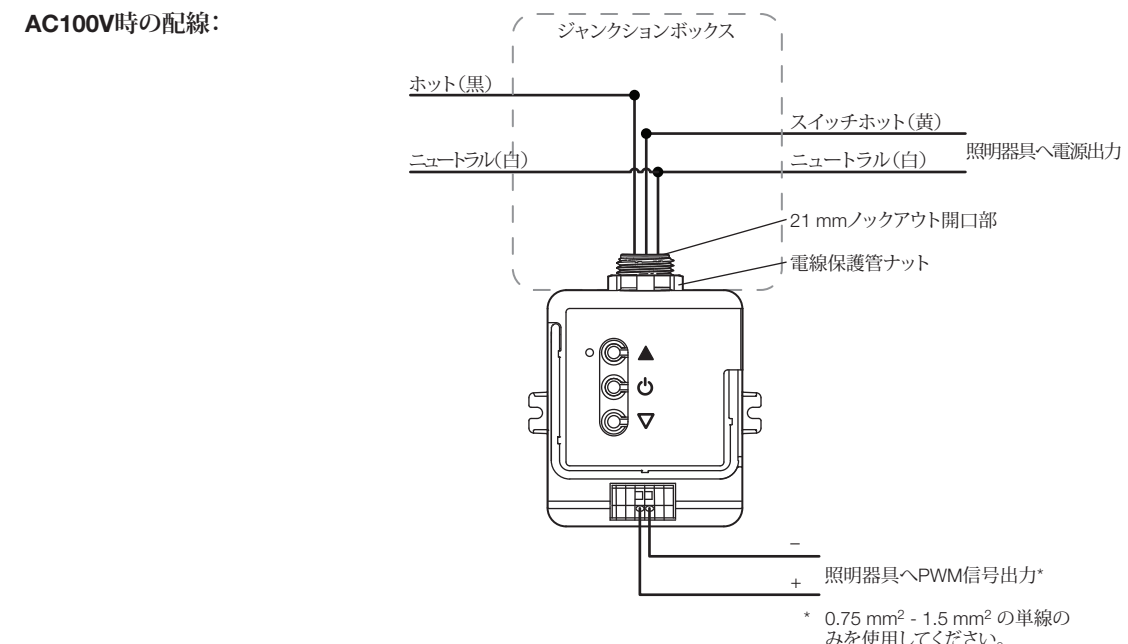
A 主電源線(ホット、ニュートラル)を各器具に接続します。
B 制御線(+および-)を各器具に接続します。

2 PowPak® 調光モジュールの取付

推奨取付場所
室内中央に取り付けてください。これにより適切なRF範囲が確保されます。

ジャンクションボックス内へ装置を取り付ける場合は、Lutron P/N 369674をご参照ください。詳細は、www.lutron.com/powpakrelayをご覧ください。

A PowPak® 調光モジュールは、電線保護管ナット(付属品)または取付ネジ(別途)を用いてジャンクションボックスまたはマーシャリングボックス内に取り付けることができます。電気関係法令に従って適切に取り付けてください。
B 取付を完了したら、PowPak® 調光モジュールの電源を入れます。
C トグルボタン「**⊕**」を押し、照明が交互に点灯・消灯となり、照明器具が適切に配線されていることを確認します。
D アップ「**▲**」およびダウン「**▼**」ボタンを用いて制御配線を確認します。



3 ワイヤレストランスミッタをPowPak® 調光モジュールに登録する

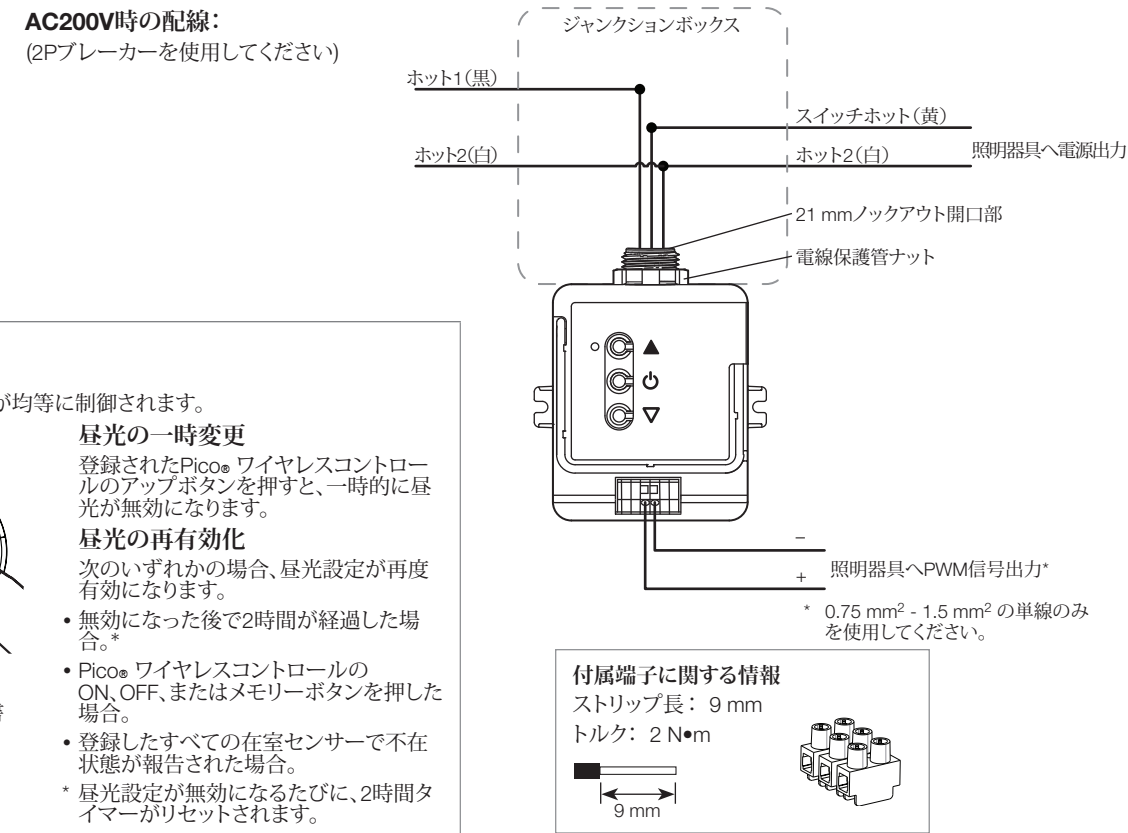
この手順を開始する前に、ほかのPowPak® モジュールが同じ建物内に取り付けられていないことを確認してください。ほかのシステムのワイヤレストランスミッタが、本モジュールに誤って登録される可能性があります。

A PowPak® 調光モジュールで、照明が明・暗・明となるまでトグルボタン「**⊕**」を6秒間押し続けます。ステータスLEDが毎秒2回点滅し始めます。
B 下図の通りトランスミッタのボタンを6秒間押し続けます。照明が明・暗・明と変化し、ワイヤレストランスミッタが登録されたことを示します。

C PowPak® 調光モジュールで、トグルボタン「**⊕**」を6秒間押し続けてこの設定を保存します。照明が点滅し、ステータスLEDが2秒間速く点滅します。

4 ワイヤレストランスミッタの取付

注:詳細については、各製品の取付説明書を参照してください。



6 お気に入り照度の設定

メモリーボタン付きPico® ワイヤレスコントロールの場合

A 照明をお気に入り照度に調整します。Pico® ワイヤレスコントロールのアップボタン「**▲**」またはダウンボタン「**▼**」を使用します。

B お気に入り照度を保存します。メモリーボタンを6秒間押し続けます。

7 下限値と上限値の設定

下限値設定

A 下限値設定調整モードに入ります。ダウンボタン「**▼**」を12秒間押し続けます。照明は明・暗・明と点滅し、ステータスLEDが点滅し始めます。
B 下限値設定を調整します。アップボタン「**▲**」とダウンボタン「**▼**」を用いて、照明を好みの下限値(1 - 45%)に調整し設定してください。
C 下限値設定を保存します。トグルボタン「**⊕**」を6秒間押し続けて設定を保存します。ステータスLEDが点滅してから点灯し、新しい照度が保存されたことを示します。
D 上限値設定調整モードに入ります。アップボタン「**▲**」を12秒間押し続けます。照明は明・暗・明と点滅し、ステータスLEDが点滅し始めます。
E 上限値設定を調整します。アップボタン「**▲**」とダウンボタン「**▼**」を用いて、照明を好みの上限値(55 - 100%)に調整し設定します。
F 上限値設定を保存します。トグルボタン「**⊕**」を6秒間押し続けて設定を保存します。ステータスLEDが点滅してから点灯し、新しい照度が保存されたことを示します。

注意
照明器具の種類によっては、下限値設定と上限値設定を調整しなければならぬ可能性があります。
• 器具によっては設定が低すぎると、ちらついたり消えたりすることがあるため、下限値を調整して安定した照度を確保してください。
• 下限値設定の照度で照明を点灯できることを確認してください。
• ほとんどの用途では、工場出荷時の上限値設定で通常十分です。必要に応じて調整します。

8 常時点灯設定

廊下など特定用途の場合は、常時点灯の設定が必要となる場合があります。このようなエリアでは常時点灯モードを有効にしてください。

A 常時点灯設定モードに入ります。トグルボタン「**⊕**」とダウンボタン「**▼**」を12秒間押し続けます。照明明・暗・明と1回点滅し、ステータスLEDが点滅し始めます。照明が上限値で点灯した場合、常時点灯はOFF(出荷時設定)になっています。照明が下限値で点灯した場合、常時点灯がON(出荷時設定)になっています。
B 常時点灯のON/OFFを設定します。アップボタン「**▲**」を押すと、常時点灯をONにできます(不在時や、リモコンでオフにしたときには下限値で点灯し続けます)ダウンボタン「**▼**」を押すと、常時点灯をOFFにできます。
C 設定を保存します。トグルボタン「**⊕**」を6秒間押し続けます。ステータスLEDが速く点滅し、新しい設定が保存されたことを示します。

9 人感センサー検知時の明るさ設定

注:不在時照度は常に最小に設定されているため調整できません。

A 人感センサーが人を検知した際に点灯するお好みの明るさを設定します。PowPak 調光モジュールのアップ/ダウンボタン「**▲/▼**」か、登録されたPico® ワイヤレスコントロールのアップ/ダウンボタン「**▲/▼**」を使用します。注:特定のPowPak® が在室状態による影響を受けないようにするには、Pico® ワイヤレスコントロールを用いて消灯します。

B 人感センサー検知時の明るさを登録されているワイヤレス人感センサーの「Test」(テスト)ボタンを6秒間押し続けます。このとき「**⊕**」(電球マーク)ボタンは押さずにください。センサーのレンズが点滅し始めたからボタンから手を放します。または、登録されたRadio Powr Savr™ ワイヤレス人感センサーの「**⊕**」(電球マーク)ボタンを6秒間押し続けます。センサーのレンズが点滅し始めたからボタンから手を放します。

工場出荷時設定へのリセット

注:場合によっては、PowPak® 調光モジュールを工場出荷時設定に戻す必要があります。設定を元に戻す前に、すべての機器が接続され、電源が入っていることを確認してください。

A PowPak® 調光モジュールのトグルボタンを1秒以内に3回押し、3回目は押したままにします。ステータスLEDがゆっくりと点滅します。
B ステータスLEDが点滅したら、トグルボタンを再度1秒以内に3回押し、ステータスLEDが早く点滅し、本装置が工場出荷時設定にリセットされます。

注:PowPak® の登録・設定や既存のプログラミング設定は消去されるため、プログラミングし直す必要があります。

トラブルシューティング

www.lutron.jp

PowPak® 調光モジュールから接続された照明器具を制御できない。	<ul style="list-style-type: none"> PowPak® 調光モジュールに接続したブレーカーの電源が入っているか確認してください。 PowPak® 調光モジュールの黄色線が照明器具に接続されているか確認してください。 PowPak® 調光モジュールの0-10 V制御線が照明器具に接続されているか確認してください。 工場出荷時設定にリセットしてください。
予測したとおり調光されない。	<ul style="list-style-type: none"> 0-10 V制御線が適切に配線されているか確認してください。 照明器具に反転信号(10-0 V制御)が不要なことを確認してください。
照明がワイヤレストランスミッタに反応しない。	<ul style="list-style-type: none"> PowPak® 調光モジュールと照明器具に接続したブレーカーの電源が入っているか確認してください。 ワイヤレストランスミッタがPowPak® 調光モジュールに関連付けられているか確認してください。 工場出荷時設定にリセットしてください。
ワイヤレストランスミッタをPowPak® 調光モジュールに関連付けることができない。	<ul style="list-style-type: none"> PowPak® 調光モジュールに最大数のワイヤレストランスミッタが登録されています。以前に設定したワイヤレストランスミッタを登録から外すには、ワイヤレストランスミッタのオン・オフのいずれかのボタンを1秒以内に3回押し、3回目は押しつづけます。LED表示がゆっくり点滅を開始したら(LED表示がない場合、6秒ほど押し続けてから)、同じボタンを再度1秒以内に3回押しします。